

1. 観測の概要

近年、増加する集中豪雨や局地的な大雨による水害や土砂災害等に対して、適切な施設管理や防災活動等に役立てるために、高精度・高分解能(250mメッシュ)・高頻度(配信間隔1分)で、ほぼリアルタイムのレーダ雨量の観測を実施している。

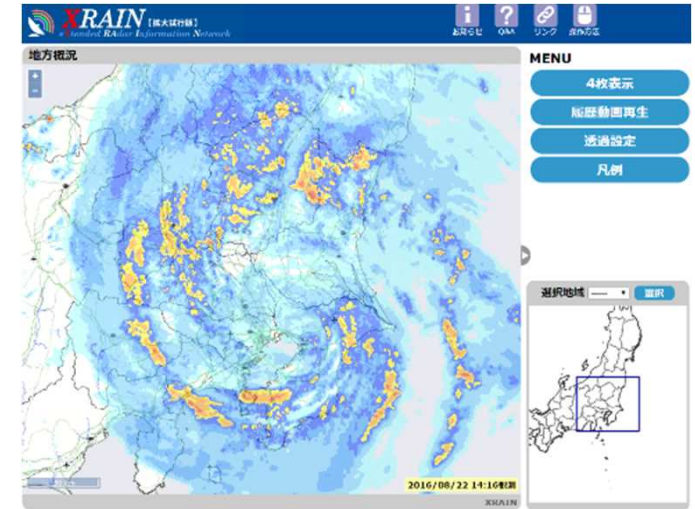
《経緯》

平成22年7月～XバンドMPLレーダ雨量計による観測を開始 ⇒「XRAIN」

平成28年7月～XバンドMPLレーダ雨量計とCバンドMPLレーダ雨量計による観測を開始
⇒「XRAIN」を「XRAIN(拡大試行版)」として名称を更新

《国土交通省レーダ雨量計の情報提供サイトの仕様比較》

| 情報提供サイト | レーダ雨量計 | 配信間隔 | 分解度 | 配信遅れ | 地上雨量計による補正の必要性 | カバー範囲 |
|--------------|--------------------------------|------|----------|------|----------------|-----------|
| XRAIN(拡大試行版) | CバンドMPLレーダ雨量計 XバンドMPLレーダ雨量計 | 1分 | 250mメッシュ | 1～2分 | なし | 全国(順次拡大中) |
| Cバンドレーダ | Cバンドレーダ雨量計 | 5分 | 1kmメッシュ | 約10分 | あり | 全国 |
| XRAIN | XバンドMPLレーダ雨量計 | 1分 | 250mメッシュ | 1～2分 | なし | 主要都市等 |



《配信画面》XRAIN(拡大試行版)



《観測施設》CバンドMPLレーダ雨量計

2. 社会課題解決に対する効果

- ・観測結果は誰でも閲覧できるインターネット「川の防災情報」の中で公開している。また、観測データは防災に関する研究や民間気象会社(スマホアプリ)等でも、利用がはじまっている。
- ・本施策は「今後10年の我が国の地球観測の実施方針」の8つの課題のうち、「③災害への備えと対応」の課題の解決に期待される。
- ・第5期科学技術計画に掲げられた「Society 5.0」の「自然災害に対する強靱化社会」の構築に貢献が期待される。